



りゅうもんがん
【流紋岩のある凝灰岩】

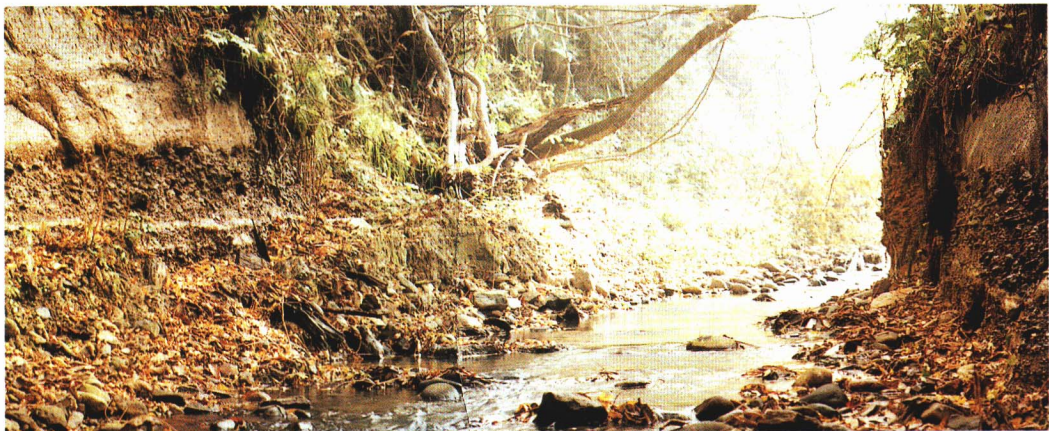
奥川 荻野層

地層を観察してみましょう。青っぽく見える岩石が、流紋岩という火山岩で、溶岩として流れたと考えられます。堆積したそのころの海底火山活動の様子を想像してみましょう。この地層も甲石付近で見られた荻野層ですが、地層は広い範囲に分布していることがわかります。

ぎょうかいがんしつ さがん
【凝灰岩質砂岩】

かるさわ りんどう ふじとうげそう
軽沢の林道 藤峠層

今から500万年前ころ、会津地方一帯は湖や沼が広く分布していた時代でした。軽沢北の林道沿いにある藤峠層の地層からは、フウ・ブナ・ヒシなどの植物の化石が多くでています。植物化石は、そのころの気候や環境を知る手がかりになるのです。



しんしよく
【川によって侵食されて見える地層】 まつお
松尾 段丘堆積物

川の両岸には、れきや砂の堆積物がよく見られます。川には、れき・砂・泥などを削り、運び、堆積するはたらきがあります。この地層は、今から何万年前ころの地層でしょうか。そのころ、西会津町には人間が住んでいたのでしょうか。